エアサス×ハイドロ最前線 #2

AIR SUSPENSION　HYDRAULICS SUSPENSION

ここからはストリートユーザーの低ギメ車両を、エアサス装着車、ハイドロ装着車それぞれに紹介!
いずれも負けず劣らずの極低車両ばかりだぞ。

車格に余裕の20インチと車高調＋エアサスで
フロント無加工13センチ落ち!!

airsus　［ニッサン・スカイライン］
INFINITI G37 COUPE ver.

製作：プライムガレージ（[illegible]）　問：[illegible]　http://www.pg-japan.net

●ベース車：ニッサン・スカイラインクーペ　2007年式●エクステリア：[illegible]●サスペンション：ユニバーサルエアー[illegible]＋P.G.ラグジュアリーダンパー（車高調）●ホイール：ジェネリー・イエルバン[illegible]●タイヤ：[illegible]●[illegible]フェンダー爪ツメカット、ヌーガンレーシング製キャンバーアーム交換、[illegible]ブレーキキャリパー（前6ポット＋後4ポット）ローター[illegible]●[illegible]

Photo：Media G

アーム類も交換

リヤサスペンションには、ヌーガンレーシング製キャンバーアームもセット[illegible]

REAR　FRONT

Gianelle YERVAN 20inch

ジェネリー・イエルバンのマットブラック×クロームリップカラーをセット。フロント（右）は無加工でこの深さ。リヤ（左）はアーム交換やツメカット等で猛烈なリム履きスタイルに。ブレーキは、イデアル製の前6ポット＋後4ポットキャリパーやローターを装着する。

AIR SUS SPEC

エアサスのユニットはリヤトランク内に[illegible]

ユニバーサルエアー：前後輪独立タイプ（2独）
＋
P.G.ラグジュアリーダンパー（車高調）

INTER FACE

シフトノブ付近にセットされた赤と黒のボタンがエアサスのスイッチ。エアゲージは小物入れ内に。

フロントグリルはインフィニティ・エンブレムをセットしてブラックペイント。ナンバーポケットやサイドフェンダー等はスムージングを施し、すっきりとしたフォルムを実現。

リヤまわりには、ヌーガンレーシング製キャンバーアームもセット。[illegible]

クーペやセダンに22インチは当たり前!!　の昨今、20インチ＋エアサスで至高の極低スタイルを手に入れたのが保利さんの37クーペだ。

アシに投入したのは、ユニバーサルエアー製エアサスと車高調のP.G・ラグジュアリーダンパーのコンビ。低車高と走行時の乗り心地を両立する布陣に、エアサスは前後輪独立制御（2独）タイプで、上下動も超スムーズ。例の「バッチン」というエア音も最小限だ。

フロントフェンダー内は無加工。純正のままで、車高全上げから全下げの可動幅約13センチ（実測値）!!　元々フェンダー内に余裕がある36スカイラインに、20インチホイールという選択がなせる技だ。

全下げ時にホイールがすっぽりと収まるリヤは、フェンダーのツメカットやアーム交換等を実施。これにより、全下げ時のフェンダーから地面までの距離が57.5センチ（実測値）という、見事なスラムドスタイルを実現する。

カスタムは「やり過ぎ」も[illegible]。そういう意味でこの36クーペはリヤ加工やホイールサイズ選択等の必要最低限メイクにより、「軽さに特化した1台」だと言えよう。

OWNER　**保利周作さん**

エアサスにした決め手は？

> “止めた時
> かっこよく
> 便利!!”

ルーフもブラックペイント。ホワイトボディにブラックの差し色で全体を統一している。

マフラーはオリジナル・ワンオフの[illegible]。ストレート形状でヌケのいい排気音が魅力だ。

エアサスvsハイドロ:
極低キメ!

リヤ上下幅21.5センチ激落ちの秘密は

アーム&フェンダー加工!

●ベース車:レクサス・IS250 2010年式 ●エクステリア:IS F用純正バンパー、純正後期用ヘッドライト ●サスペンション:ユニバーサルエアー製ハイブリッドシリーズ(エアサス＋車高調キット) ●ホイール:ジオバンナ・ポルトフィーノRL(F&R=20インチ×10.0) ●タイヤ:レクサーニ・LX-NINE(F&R=235/35-20) ●足まわり加工:フェンダー加工、リヤアーム類交換(メーガンレーシング製)、他

Photo : Media O

スポーツバージョンのIS F用フロントバンパーを移植。ヘッドライトはデイライト付きの後期用に変更している。

AIR SUS SPEC

リヤトランク内にエアサスのタンクとコンプレッサーを搭載。

ユニバーサルエアー・ハイブリッドシリーズ・前後輪独立タイプ(2独)

INTER FACE

ステアリング左下にエアゲージ(左)。コントローラーは、プレイステーション用を流用(右)。

airsus 【レクサス・IS】 LEXUS IS

製作:プライムガーレジ(広島県福山市) ☎:084-928-5400 http://www.pg-japan.net

GIOVANNA PORTOFINO-RL 20inch

ジオバンナ・ポルトフィーノRLの20インチを装着。タイヤはレクサーニ製の235/35サイズを前後にセットする。足まわりは、リヤのツメカットやアーム交換を実施。全上げ時と全下げ時のリヤフェンダーの地面からの距離差21.5センチを実現している!!

リヤバンパーもIS F用を移植。マフラーもIS F用だ。アーム類の交換等で、特にリヤフェンダーの落ち具合は絶品だ!!

比較的ボディが小柄なISでも、20インチを入れる事は当然可能だが、それで極低車高にするのは「やや難易度高し」と言えよう。

そんなISがご覧の通りのローフォルムに!! 特に、リヤフェンダーの被り具合は絶品!! 投入したサスは、車高調＋エアサスが融合したユニバーサルエアー製ハイブリッドシリーズ。加えて、リヤのアーム類をメーガンレーシング製に交換。全下げ時の、ボディとアームの干渉防止やキャンバー角増大を敢行。前後タイヤはレクサーニ製の235／35サイズで、引っ張り気味にセッティング。また、フェンダーは前がツメ折り、リヤはタイヤの干渉箇所により折りとカットを併用。外観では見えない細かいメイクの積み重ねが、見事な低さを実現した好例だ。

OWNER 大山裕司サン

エアサスにして良かったこと

“クルマが長く見えて、迫力が出た!!”

アーム類も交換

リヤのアーム類は全て、低車高に対応して全長調整等が可能なメーガンレーシング製に交換。①がアッパーアームのフロント側で②がリヤ側。③は直進性や操舵性を確保するコントロールアーム、④がロアアームだ。